

ち さき  
地先とは、陸から近い範囲の海のことを指す。動力船が登場し外洋で漁が行えるようになる前は、眼前に広がる磯<sup>いそ</sup>や海といった地先の漁場で、漁師は様々な漁を行ってきた。地先で行われてきた様々な漁は時代を経ても形を変えながら受け継がれているものもある。

本展では、地先で行われる磯漁・突き<sup>つき</sup>漁・陥<sup>かん</sup>穽<sup>せい</sup>(ワナ)漁を取り上げ、国指定重要有形民俗文化財に指定された漁具を中心に紹介する。

展示構成

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| I 磯で採る                | IV ワナで捕らえる |
| 磯 <sup>のり</sup> 海苔採取  | ハスカゴ漁      |
| 牡蠣 <sup>かき</sup> 採取   | モジリ漁       |
| II 底物を突く              | タコツボ漁      |
| 磯突き漁                  | その他のワナ     |
| III カジキとの格闘           |            |
| 突き <sup>ぼう</sup> さん棒漁 |            |



1. 磯海苔採取 (提供 杉山榮一氏) 2. モジリ漁 3. 磯突き漁 4. 突きさん棒漁 (画 真野市郎氏) 5. タコツボ漁 (協力 明栄丸)